

育児休業に関する体験記3

40代 35日間取得

① 家事 ・ 育児 につ いて	<p>1. 育児休業前に、夫婦で家事・育児の分担をどのように話し合い、行ったか 上の子の育児があるので妻にはできるだけ体を休めることと、赤ちゃんのお世話に専念してもらい他の私が担当すると話し合って決めました。</p> <p>2. 育児休業後の家事・育児の参画の状況について 育休前と同様に家事育児を行います。 また1人目ではできなかった授乳（ミルク）にも挑戦します。</p>
（妻 記載欄） （妻 記載欄） 休業取得者の家事・育児の参画の状況について 妊娠6カ月で切迫、子宮破裂のリスクがあったため、夫は妊娠中から家事全般をこなし、育児も普段以上に参加してくれました。娘を寝かしつけた後に仕事もして、疲労と睡眠不足で辛いはずなのに最後まで踏ん張ってくれました。出産後も変わらず家のこと、子どものことを見てくれたのでとても助かりました。1人目の時はホルモンバランスが崩れ夫に八つ当たりしてしまいましたが、今回は穏やかな気持ちで育児が出来ています。これも夫が2度目の育休を取ってくれたことが大きく影響しています。 育休をいただき誠にありがとうございました。夫にもありがとうございました。	
② 仕事 につ いて	<p>1. 休業取得前、仕事の引継ぎはどのように行ったか 事前に引き継ぎリストを作成のもと上司と同僚で確認打合せをしました。</p> <p>2. 評価・反省 特に問題はありませんでした。</p>

<p>③ 自由 記述 (4 0 0 字 程 度)</p>	<p>(取得者 記載欄) (例:育児休業取得の経緯、育休を終えての所感、周囲の反応)</p> <p>今回で2度目の育児休業を取得しました。</p> <p>1回目の育児休暇とは違い、長女がいるため妻の入院日から開始。初めての長女と2人きりの生活は不安でしたが、妻がいなくても泣かずに過ごすことができました。家事育児をする中で妻の日々の大変さを知り、娘とともに成長した期間でした。</p> <p>妻は帝王切開で退院後10日ほどは身動きが取れず、私は主に家事全般・長女のお世話を担当し、次女の沐浴、オムツ替え、ミルクもして、妻にはできるだけ休むことに専念してもらいました。次女は小さく生まれたので担当医から体重を増やす為に授乳を通常3時間おきのところ2時間おきの指導を受けました。細切れ睡眠だったので生後3週間までは心身ともに最も苦しい日々が続きました。その後、1ヶ月検診では頑張った甲斐があり、目標体重達成。夫婦で協力し合って壁を乗り越え、長女も育児に参加してくれたことで家族の絆が深りました。</p> <p>両親の高齢、妻の実家が市外、健康上の問題で里帰りが出来ず、周りのサポートは難しい状況で、今後どうやって家事育児と仕事を両立していくか、妻の妊娠が分かってからずっと悩んでいました。妻から『夫婦2人でやってみよう』って言ってくれたおかげで覚悟ができ、思い切って育児休業取得して良かったです。</p> <p>家族のかけがえのない貴重な時間をくださった会社の皆様・上司にはご理解いただき本当に感謝しております。復帰後は育児休業の経験を活かし恩返しができるように精進して参ります。今後取得するか迷っている人がいましたら勧めようと思います。</p>
--	---